

第1回「(仮称)徳島市地域公共交通協議会」
会議録(要約)

平成21年3月23日(月)午後1時30分～午後2時30分
徳島市役所 8階 庁議室

1 開 会

2 市長あいさつ
(原徳島市長)

3 徳島市地域公共交通協議会の設立について

(事務局)

【資料1】により、協議会規約等の説明

(司 会)

ただいまご説明しました規約等について、ご質問等がないようですので、規約等の承認につきましては、ご異議ございませんか。

(委 員)

異議なし。

(司 会)

規約等が承認されましたので、ここに徳島市地域公共交通協議会が設立されました。

4 委嘱状及び任命書の交付

(事務局)

市長より、委員11名に委嘱状、辞令書を交付
小松島運輸部課長 大栗委員は
欠席

5 委員紹介

(事務局)

【委員名簿】により委員 12 名を紹介 日下委員（松田開発部副部長代理出席）

6 役員選出

（司 会）

協議会規約第 4 条により、会長 1 名、副会長 1 名を選出したいと思いますが、どなたかご推薦いただけますでしょうか。

（委 員）

事務局案があれば提案願いたい。

（事 務 局）

事務局より、会長 佐藤吉則委員（徳島市第二副市長）、副会長 奥嶋政嗣（徳島大学大学院准教授）を提案。

（委 員）

異議なし。

（司 会）

それでは、本協議会の会長に佐藤徳島第二副市長、副会長に奥嶋徳島大学大学院准教授と決定させていただきます。

これからの議事進行につきましては、協議会規約第 5 条により会長が執り行うこととなりますので、よろしくお願いします。

なお、原市長は公務のため退席させていただきますので、ご了承ください。

< 市長退席 >

7 会長あいさつ

（佐藤会長）

8 副会長あいさつ

（奥嶋副会長）

9 協議事項（1）平成 21 年度事業計画（案）について

(事務局)

【資料2】により説明

(議長)

平成21年度事業計画(案)について、ご質問等ございませんか。

(委員)

意向・アンケート調査の対象者についてはどのように考えているのか。

(事務局)

対象者については、市民の方からと考えております。また、各地元コミュニティの意見等も抽出していきたいと考えております。

(委員)

調査を行う際、市内中心部と周辺部の住民では、バスへの意見に違いがあるということを検討した調査を要望する。

(事務局)

各地域にとってバスという公共交通の確保という点については、共通していると考えております。ただし、バスの利用促進という点については、ご指摘のとおり、各地域ごとに違いはあると考えており、意向・アンケート調査により違いを抽出し、住民への説明会の実施などを通じて共通理解をもっていただけるよう、その後の計画の策定をと考えております。

(議長)

平成21年度事業計画(案)について、他にご意見、ご質問等はございませんか。なければ、案のとおり決定してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし。

(議長)

協議事項(1)平成21年度事業計画につきましては、案のとおり決定いたしました。

10 協議事項(2)その他項目について

(議長)

監査委員について、協議会規約第11条により、安井委員(徳島県交通政策課課長)

島田委員（徳島市コミュニティ連絡協議会会長）を、会長が指名し、決定

1 1 発言・質疑応答等

（委 員）

意向・アンケート調査についてだが、調査で一度意見を抽出した上で、今後の協議を進めていくことが重要だと考えており、その点について要望しておく。

（事務局）

調査で自由な意見を広く募った上で、今後の協議及び計画策定等をと考えております。

（委 員）

「企業路線」「福祉路線」などの徳島市バス事業の在り方検討委員会での考え方は、この協議会でも引き継ぐのか。

（事務局）

交通局での検討委員会での考え方を引き継ぎ、さらに、協議会では、デマンドバスの考え方など、より広い視野で地域の公共交通を考えていくべきだと考えております。

（委 員）

意向・アンケート調査についてだが、協議会で調査内容等を精査したうえで、調査を行うのが望ましいのではないかと考える。

また、計画策定についてだが、現在施工中の南環状線が完成した際は、バスの定時性の改善などの効果が期待できるなど、道路交通環境の変化があるため、3～4年後の将来を想定した計画づくりを望む。

（委 員）

徳島県警では、公共交通の定時性の確保・改善を重要視しており、優先レーン、P T P Sの設置などに過去取り組んできた。

今後の計画等についても、定時性の確保・改善をはじめとした問題に協力をと考えている。

（委 員）

意向・アンケート調査について、バスのみに限定せず、徳島市における公共交通全体についての調査を要望する。

（委 員）

市営バスにおいては、公共性と経済性の両立という問題があり、経済性については、非常に厳しい状況が続いている一方、市民の足として市営バスを存続していかなければ

いけないという問題から、徳島市交通局で検討委員会を立ち上げ、今回、この協議会の設置となった運びである。

交通局で21年度に実施するOD調査など、今後は協議会と連携し取り組むべきであると考えている。

(アドバイザー)

委員の方々及び事務局の現在の方針で協議会等を進めて結構だと考える。

要望としては、今後の協議会及び計画策定において、バス単独ではなく、JR・タクシーなどを含めた公共交通全体でのバスの位置づけを考え、住民等からの意見を反映したものとなることを要望する。

12 その他

(事務局)

4月以降の連絡先等について、後日通知及び連絡する旨を説明

13 閉 会

(14時30分終了)